



厚別区誕生
30周年記念

プラネタリウムが織りなす
映像と音の圧倒的新体験
の人気イベントが今年も開催!!

ドームセレクション & プラネタリウムライブ 2019

VR DOME MOVIE

「Intensional Particle Dome Installation」 梅田 宏明	「残像」 馬場 ふさこ	「懐中銀河」 Aono.Y

PLANETARIUM LIVE

19日 laufen スペシャルコラボレーション 北星学園大学アカペラサークル ぱらりす。	20日 木箱

RAKUGO

「厚別乃嶰」 斬捨亭御免

2019年10月19日[土] ▶ 20日[日]

[開場] 18:30 / [開演] 19:00

VENUE

札幌市青少年科学館 1階プラネタリウム

〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目2-20

DATE

前売券
当日券 ¥2000

8月28日(水) 10:00より発売開始!

前売券取り扱い先

○チケットぴあ／Pコード: 160-189 ○札幌市青少年科学館窓口
○セブンイレブン ○チケットぴあの店(札幌市内コーチャンフォーなど)

*前売券・当日券ともに同料金 *大人・子供一律 *前売りチケットが完売の場合、当日券の販売はありません *未就学児不可、中学生以下要保護者同伴(中学生以下も有料)

[厚別区誕生30周年記念] VR DOME MOVIE SELECTION and PLANETARIUM LIVE 2019

2017年の初開催以降、チケット完売の好評イベント。今年は札幌市青少年科学館が位置する厚別区の誕生30周年を祝う記念公演です！
プラネタリウムを会場として、没入感あふれる刺激的な体験をお届け！個性的なフルドーム映像作品のオムニバス上映や、札幌・北海道のアーティスト達によるスペシャルライブ、さらに今年は厚別区30年の歴史を振り返る落語も登場！ここでしか体験できない、特別な夜をお楽しみください。

VR DOME MOVIE

— VRドームムービー —

作品名：

Intensional Particle Dome Installation

作者：梅田 宏明

上映時間
7分



Photo: S20

遠目には安定した形状を保つように見える滝や川のような存在も、微視的にフォーカスすれば、実は、うねり、波うち、渦巻き、逆流といった不断の流動の繰り返しで形成されている。こうした考えに則り本作で梅田は、パーティクルを「静的な粒子」としてではなく「動的な質点」として捉え、その質点が密かに宿す「インテンショナルな（内包する）フォース」を空間に可視化する。ダンス作品として制作された「Intensional Particle」のドーム型映像作品。

ディレクション: 梅田宏明

映像編集: Guillaume Gravier

イメージ/プログラミング: Shoya Dozono

共同製作: S20, as part of Mons 2015, European Capital of Culture - Digital projects

サウンドデザイン: S20

ビジュアルリサーチ: Ludovic Burczykowski

製作: S20

作品名：

残像花

作者：馬場 ふさこ

上映時間
11分



映像と音楽が光の像と音の像として作られたイメージの世界。それは残像の花の咲く非在の庭の光景です。そこに咲く花は光と振動から生まれ、触れることもできず、いつもそことどまっているものでもありません。流れる時間は日常の時間とは異なり、「像としての花」がつくりだす特有の時間。誰にも知られることのない脳内の秘密の小道を抜けてたどり着く不思議な空間・実態のない庭に咲く花です。

音楽: 宮木朝子

作品名：

懷中銀河

作者：Aono.Y

上映時間
6分



宇宙と、それにまつわる科学をテーマにした全天周のミュージックビデオです。見上げればそこにある星空から、光の届かない深遠まで。大小様々な「夢」を受け止めてくれる宇宙に思いを馳せて頂けたらと思います。

作詞・作曲: yukkedoluce

CG Artwork by Aono.Y

©Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro

PLANETARIUM LIVE

— プラネタリウムライブ —

19日 laufen



ボーカル・Cukaと、サウンドプロデューサー・克による音楽プロジェクト。ジャンルの壁を超えて作り出される楽曲は様々な表情を見せ、Cukaの故郷である世界遺産知床の雄大な自然や、四季を感じさせる歌も大きな特徴であり、近年はより普遍的なメロディや北海道ならではのサウンドを意識した音楽を作り上げる。10月17日発売のNintendo Switch用ゲームソフト「牧場物語 再会のミネラルタウン」のイメージソングを担当。オホーツク観光大使、コップ・ガラナ広報大使としても活動中。Cukaはライター、克はフォトグラファーとしての顔を持ち、SNSでの発信力を活かして自身の音楽と共に北海道の魅力を伝える活動を展開している。

20日 木箱



SAYA (Vocal.Synthesizer)

西村サシ(Programming.Guitar)

札幌在住。2004年に結成されたエ

レクトロニカユニット。2010年11月、Victor BabeStar Recordsからメ

ジャー・デビュー。温かみを感じさせる有

機的トランクにSAYAの透明度の高い声が合わさり独自の世界観を放っている。サウンドエンジニアとしても活動中の西村はサカナクションの1st.2ndアルバムを手掛けた経歴もある。ライブでは空

間演出にも力を入れており、インタラクティブ作品との融合を図ったプラネタリウムでのライブや、森でのキャンドルラン、美術作品などの装飾を取り入れたライブなどを開催。札幌市青少年科学館での

プラネタリウムライブ出演は今回で4回目となる。2012年4月、自主レーベル「kitorina records」を立

ち上げ、アルバム「hometown」をリリース。2018年12月、宇宙をテーマとした6thアルバム「Orb」をリ

リース。2019年5月、初の海外ツアー。台湾(台北、新竹、苗栗)とタイ(バンコク)にて公演。

19日

スペシャルコラボレーション

北星学園大学アカペラサークルばらりす。



総数104名を誇る、北星学園大学でも最大規模のサークル。サークルの中でも、アップテンポな曲を歌うグループ、バラードを歌うグループなど様々なグループが所属している。(楽しみ、楽しめる)をモットーに、日々学内外問わず様々な場所で活動中。札幌市青少年科学館でのプラネタリウムライブへは今回が初参加となる。

RAKUGO

— 落語 —



斬捨亭御免

「厚別乃嘶」

札幌市出身。大学へ入ると同時に落語研究会に所属し落語を始める。在学中は福祉施設や地域の会いなどの依頼を受け出張落語を披露していた。卒業後も札幌市内を中心に落語口演を行っている。年に2、3回、自主開催、他団体主催の落語会に出演。素人落語集団「のら」主催。そのほかにカフェ、レストラン、小学校などでも落語を披露。また役者としても活動し、今年は札幌演劇シーズン2019「青森県のせむし男」に出演。